

# 大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607 京都市山科区大宅山田町34 京都橘女子大学図書館 小林倫道気付  
 (Tell) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

## Chemical Abstracts 解説講座(2)

「General Subject Index のこと。また、Index Guide の話」

滋賀医科大学附属図書館運用係 菅 修一

### 1. Index のこと

利用者がCAで、癌に関わる化学的な研究論文にはどのようなものがあるか調べたい、とのことで図書館にやってきました。その利用者は、CAを使うのははじめてです。そんな時はまず、Indexを利用すると文献調査が容易になる、ということをお勧めいただきたいのです。もっとも、CAのIndexは何種類もあります。今回のような場合には、General Subject Index = 一般事物索引 を利用してください。

[参考] 「ケミカルアブストラクツの使い方」(化学情報協会)の参照ページ:

10頁-13頁に「CA索引類」というのがあります。毎週発行されるWeekly Issue についての索引と、巻に対応する索引についてどのようなものがあるか、説明されています。

### 2. 見出し語を選ぶ = Index Guide を使おう

General Subject Index のところにいきました。癌は英語で "Cancer" というので、そのところをこのIndexで引いてみました。しかし、"Cancer" という見出し語はいくら探してもありません。

目	Chemical Abstracts 解説講座(2)
	(菅 修一) ..... 1頁
次	大図研大学アンケートの 集計結果について..... 3頁
	「大図研大学」準備、着々整う..... 5頁
	第24回全国大会要綱発表..... 6頁

ここで調査が挫折してしまうところです。そこで Index Guide を利用していただきたいのです。Index Guideで "Cancer" のところを引いてみてください(図1)。

(図1)

Cancertrine bismethine  
 See 9,34-Secocancertrine, 9,10,15,16=  
 tetrahydro-16-de(methylamino)-  
 [38990-00-0]  
 Cancertrine methine  
 See 9,34-Secocancertrine, 9,10-didehydro-34=  
 methyl- [29477-91-6]  
 Cancer (disease)  
 See Neoplasm  
 Cancerigenic substances  
 See Carcinogens  
 Cancrinite (CaNa<sub>3</sub>[Al<sub>3</sub>(CO<sub>3</sub>)(SiO<sub>4</sub>)<sub>3</sub>]) [12172-98-4]  
 The naturally occurring mineral only is indexed at  
 this heading. Synthetic cancrinites are indexed

ここで、General Subject Index で "Cancer" についての文献を調べる時は、"Neoplasm" という見出し語のところをみてください、という案内がなされているわけです。

では、今度は、General Subject Index で "Neoplasm" という見出し語のところを引いてみましょう。今度は、この見出し語の下にたくさんリストをみることができます

(図2)

Neodiprion swainei  
 feeding of, on pine, mechanism of, 118980v  
 Neopercis sexfasciata  
 proteins of muscle of, heat coagulation of, 86930k  
 Neophyllomyza  
 attractant for, 146831r  
 Neoplasm  
 from acetylaminofluorene, cyclamate and saccharin  
 effect on, 45402w  
 from actinides inhalation, 165593f  
 actinomycin and radiation effect on, 20986b  
 adhesiveness and aggregation, benzocyclane inhibition  
 of, 20941h  
 of adrenal glands, ACTH and cyclic AMP effect on, R  
 197s  
 adrenal hormones in relation to, R 1898h  
 adriamycin in therapy of slow growing, 114468m  
 from aflatoxin, in liver, 22094h  
 from aflatoxin B<sub>1</sub> and diethylnitrosamine,  
 cyclopropanoid fatty acids in relation to,  
 164429v

(図2)

見出し語の下にある、右に3文字ほどずれて記述されているのがテキスト修飾語でありこのテキスト修飾語の後に続く番号がCA抄録番号です。テキスト修飾語は、当該CA抄録番号の文献が "Neoplasm" のどの側面についての文献なのかを示しています。CA抄録番号をチェックしてはじめて、CA抄録に辿り着くことができます(図3)。

(図3)

45402w Inhibitory effect of sodium cyclamate and sodium saccharin on tumor induction by 2-acetylaminofluorene in rats. Ershoff, Benjamin H.; Bajwa, Gurwant S. (Inst. Nutr. Stud., Culver City, Calif.). *Proc. Soc. Exp. Biol. Med.* 1974, 145(4), 1293-7 (Eng). Orally administered sodium cyclamate [139-05-9] and sodium saccharin [128-44-9] decreased the incidence of tumors in female rats fed the carcinogen 2-acetylaminofluorene [53-96-3].

続き→

.....  
: 大図研大学アンケートの集計結果について :  
.....

第Ⅲ期大図研大学を開講するにあたって、京都支部全会員に対してアンケートを実施させて頂きました。

回答率は、109人中61人で56%とかなり高いものとなりました。ご協力ありがとうございました。

そこで、このアンケート結果について、分析とまでは行きませんが、集計表と簡単なコメントを報告させて頂きたいと思います（次ページに集計表）。

1の開講形式につきましては、日曜日に参加できると答えた方は23名で、全体の37.7%でした。これに対して参加できないと答えた方は、33名で54.1%でした。ただし、参加できないと答えた方に参加可能な条件について尋ねたところ、特徴的なところでは、土曜日と答えた人が9名、平日の夜と答えた人が3名という結果でした。また、参加できないと答えた方の中でも、半日であれば参加できると答えた方が4名ありました。

2の取り上げて欲しいテーマでは、データベースの利用やニューメディア論が多く、最新のテーマでかつ実務に関わるものに興味関心が集まったのではないかと思います。

3の演習形式につきましては、望むと答えた方が31名で50.8%で、望まないと答えた方は30人で49.2%でした。演習のテーマについては、先行している図書館の見学会やデータベースの検索実習の希望が多かったのが特徴的でした。

また、記述式の部分では、大図研大学や大図研に対する貴重なご意見を多数頂きましたので、今後の大図研運営に生かして行きたいと思います。

このアンケート結果につきましては、第Ⅲ期大図研大学のカリキュラムを計画して行く際、とりわけ講師依頼の際に十分に活用出来るようにしたいと思います（5ページに関連記事）。本当にご協力ありがとうございました。

→続き

[参考] 「ケミカルアブストラクツの使い方」（化学情報協会）の参照ページ：

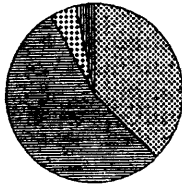
29頁－49頁にIndex Guide を利用してのGeneral Subject Indexでの検索の具体例があります。

なお、CAの索引記述について、ぜひ、次の文献をご覧ください。

川村 敬一 「Articulated Subject Index の構造的特性と機械化プログラム」  
（「情報管理」 v. 24(5)447-456(1981)）

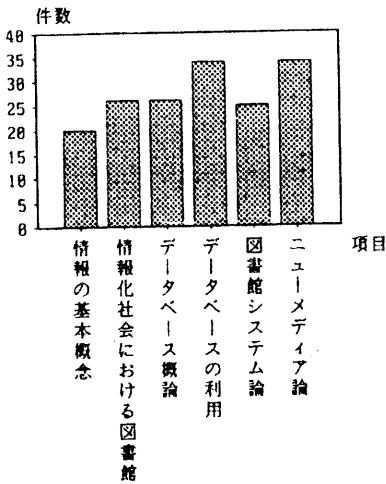
【アンケート集計表】

参加条件



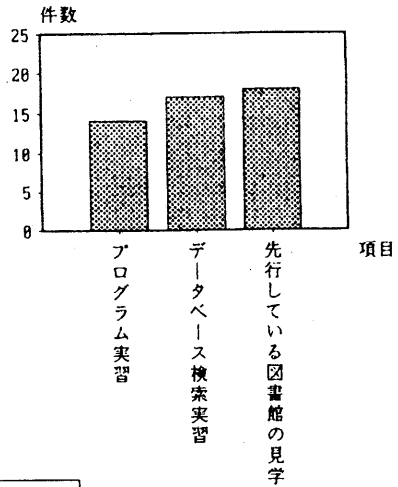
参加できる	37.7%	23
参加できない	54.1%	33
どちらともいえない	4.9%	3
無回答	3.3%	2
合計	100.0%	61

講義テーマ

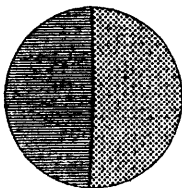


情報の基本概念	20
情報化社会における図書館	26
データベース概論	26
データベースの利用	34
図書館システム論	25
ニューメディア論	34

演習



演習形式



望む	58.8%	31
無回答(望まない)	49.2%	38
合計	100.0%	61

プログラム実習	14
データベース検索実習	17
先行している図書館の見学	18

## 「大図研大学」準備、着々整う

大図研大学の「情報管理論」のカリキュラムについてアンケートを全会員に対して実施し、各大学の班会及び支部委員会で議論を重ね、その結果をもとに6月5日(土)に同志社大学で講師候補の大城、柴田両先生と話し合いを持ちました。

基本的には両先生とも講師依頼を快く引き受けて下さることになりました。

日程につきましては、講師の先生のご予定から日曜日となりましたが、効率の問題などから、アンケートの意見の中にもありましたので、午後1時から午後4時30分の半日講義とすることになりました。また、講義の間隔については、参加者の条件を考慮して月1回のペースで行います。

テーマにつきましては、ほぼアンケートの項目で決まりました(下記を参照)。

演習につきましては、アンケートではデータベースの検索実習の希望が最も多かったのですが、たとえば、NACSIS-IRなどでは学術情報センターが主催する講習会が公的に用意されていますし、施設や利用者IDの問題等からも障壁が多いため行わないことになりました。ただし、オプションとしてアンケートの演習項目で次に多かったニューメディアの先行例の見学会として、立命館大学びわこ・くさつキャンパス総合情報センターの見学を企画しようと思います。

講義概要につきましては、講師の両先生にご依頼しておりますので、7月号の支部報に掲載できると思います。乞うご期待!!

	テ ー マ	講 師	日 程
第1講	現代社会における大学図書館	大城先生	10月17日(日)
第2講	情報管理概論	柴田先生	11月14日(日)
第3講	データベース概論	大城先生	12月12日(日)
第4講	データベースの利用	柴田先生	1月23日(日)
第5講	図書館システム論	大城先生	2月20日(日)
第6講	ニューメディア論	柴田先生	3月13日(日)

系統だって受講することがカリキュラム上からも望ましいため、是非、通して受講されることをお勧めします。

# 第24回全国大会要綱発表!!

とき 1993年8月7日(土)～8日(日) 【申込締切 7月20日】

ところ ルブラ王山(旧王山会館)：公立学校共済組合名古屋宿泊所  
(名古屋市千種区覚王山通り8-18 ☎052-762-3151)

参加費 6,000円 懇親会費 6,000円 宿泊費 9,500円(一泊朝・昼食付)

参加申込・問合せ 〒464 名古屋市千種区星が丘元町17-3  
相山女学園大学図書館内 松野高徳 ☎052-781-1186 (445)

## 【1日目】

全体会(9:00受付 9:30開会)

第1号議案 「基調報告」(情勢、活動方針)

第2号議案 「1992年度決算報告、監査報告、1993年度予算案」

主題別分科会(14:00～17:00)

① 人文系 ② 社会系 ③ 理工系 ④ 生物医学系 ⑤ 教育系

懇親会(18:00～) 自主企画(21:00～)

## 【2日目】

課題別分科会(9:00～17:00)

- ① 図書館の歴史から何を学ぶか
- ② 利用しやすく働きやすい図書館建築をすすめるために
- ③ 大学の自己点検評価に図書館はどうかかわるか
- ④ 利用者サービスと利用者ガイダンスをどうすすめるか
- ⑤ 視聴覚サービスと電子メディアの活用をめぐって
- ⑥ 蔵書づくりと資料保存にどうとりくむか
- ⑦ 整理業務の変化とOPAC・主題検索
- ⑧ 逐次刊行物を総合的に考える
- ⑨ 相互協力活動とILLシステムの展開をめぐって
- ⑩ 図書館サービスから著作権の問題を考える
- ⑪ 時短、専門性、職場の問題を交流する
- ⑫ 管理職の役割を見直す

反省会(各自)